9. イエスは独身だっ たのですか、それと も結婚していたので すか、あるいは男や もめだったのです か?

福音記者は、彼の家族、 母、"兄弟姉妹"について言及 するものの、"妻"について一 度も触れたことはない。

2016/09/28

福音記者が書き残したデータによれ ば、イエスはナザレで大工の仕事に 従事して後(マルコ6.3)、30歳の時 に公の職務を始めた(ルカ3.23)。 公生活の間、イエスに従う女性や (ルカ8.2−3)、親しく接する女性 がいた (ルカ10.38-40)。イエス が独身であったか、結婚していた か、男やもめであったかについて、 まったく何も書かれていない。しか し、福音記者は、彼の家族、母、"兄 弟姉妹"について言及するもの の、"妻"について一度も触れたこと はない。この沈黙は多くを語る。イ エスは"ヨセフの子"として知られて おり(ルカ4.22、ヨハネ6.42)、ナ ザレの村人が彼の教えに驚いた時、 「この人は、大工ではないか。マリ アの息子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、 シモンの兄弟ではないか。姉妹たち は、ここで我々と一緒に住んでいる ではないか」(マルコ6.3)と感嘆し た。イエスが妻帯者であったと思わ せるような記述はどこにもない。長

い伝統の中でイエスの結婚の可能性 について語られたことは決してな かった。そうしなかったのは、イエ スの結婚はイエスを中傷すると考え たからでも(イエスは結婚の尊厳を 回復した、ルカ19.1-12)、イエス の神性の信仰と両立しないと考えた からでもなく、単に歴史的事実に 従っただけである。教会 の信仰を危 険にさらす恐れのあることを黙って おきたいのであれば、なぜ罪のゆる しのための洗礼を授けていた洗者ヨ ハネから洗礼を受けたことを伝えた のであろうか。初代教会がイエスの 結婚について沈黙したかったのな ら、なぜイエスと交際のあった人々 のなかで、特定の女性の存在につい て沈黙しなかったのだろうか。

にもかかわらず、イエスが結婚していたと主張するいくつかの説が広まってきている。基本的にイエスが結婚していた証拠として、1世紀のラビたちの実践と教えを提示する

(マグダラのマリアと結婚していた という推測については、「イエスは マグダラのマリアとどのような関係 を持っていたのですか? | 、本書第 29問を参照)。ラビであるイエスが 独身でいることは、当時のラビたち にとって考えられないことであり、 結婚していたに違いない(ラビ・シ メ オン・ベン・アザイのような例外 はある。彼は独身でいることをとが められた時に言った、「私の魂はト ラに恋している。他の人たちが子孫 を残せばよい。」『バビロニア・タ ルムード』 b, Yeb. 63b) 。 それゆ え、イエスは他の敬虔なユダヤ人の ように20歳ごろ結婚し、使命を果た すために妻と子どもを見捨てたのだ ろうと主張するものがいる。

それらの反論に対する答えは以下の 通り。

1) 1世紀のユダヤ教に独身生活があったというデータがある。フラ

ヴィウス・ヨセフォ(『ユダヤ戦記』 2.8.2と120-21; 『ユダヤ古代誌』 18.1.5と18-20) やフィロン (エウセ ビウスによって残された一場面で、 『福音の論証』 8.11.14) や老プリ ニオ(『博物誌』 5.73,1-3) はエッ セネ派が独身生活をしていたと伝え ているし、クムランの中に独身生活 をする者がいたことを我々は知って いる。フィロン(観想生活)は"テラ ペウタ"とよばれるエジプトの禁欲主 義のグループが独身生活をしていた と述べている。さらに、イスラエル の伝統では、エレミアのように、何 人かの有名な人物が独身 であった。 ラビの伝統によれば、モーゼも神と の親しい交わりを保つために、禁欲 生活を送ったとされる。洗者ヨハネ も結婚しなかった。従って、独身生 活は、一般的ではないものの、前代 未聞というものでもなかった。

2) 仮にイスラエルにおいて誰も独身生活を送ったことがなかったとして

も、それでイエスが結婚していたと 推定すべきではない。既述したよう にデータはイエスが独身を保ちた かったことを示しており、そうした 方が都合がよい多くの理由がある。 それはまさに、独身であることが当 時のユダヤ教との関係におけるイエ スの独自性を強調し、彼の使命に合 致したものであるからである。結婚 の価値を落とすことも、従うものに 独身を強要することもなく、神の国 の理想、彼が具現する人間と神への 愛はすべてを超越している。この愛 をよりよく表すために、イエスは独 身を望んだのである。

参考書: Armand PUIG I TÀRRECH, Jesús, un perfil biogràfic, Barcelona 2004; J. GNILKA, Jesús von Nazareth. Botschaft und Geschichte, Freiburg 1990. pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-9/ (2025/11/22)